

TOSHIBA

「在庫適正化」と「業務効率化」を徹底追求

φ-Pilot series

在庫に関する業務革新は 限界だと考えていませんか？



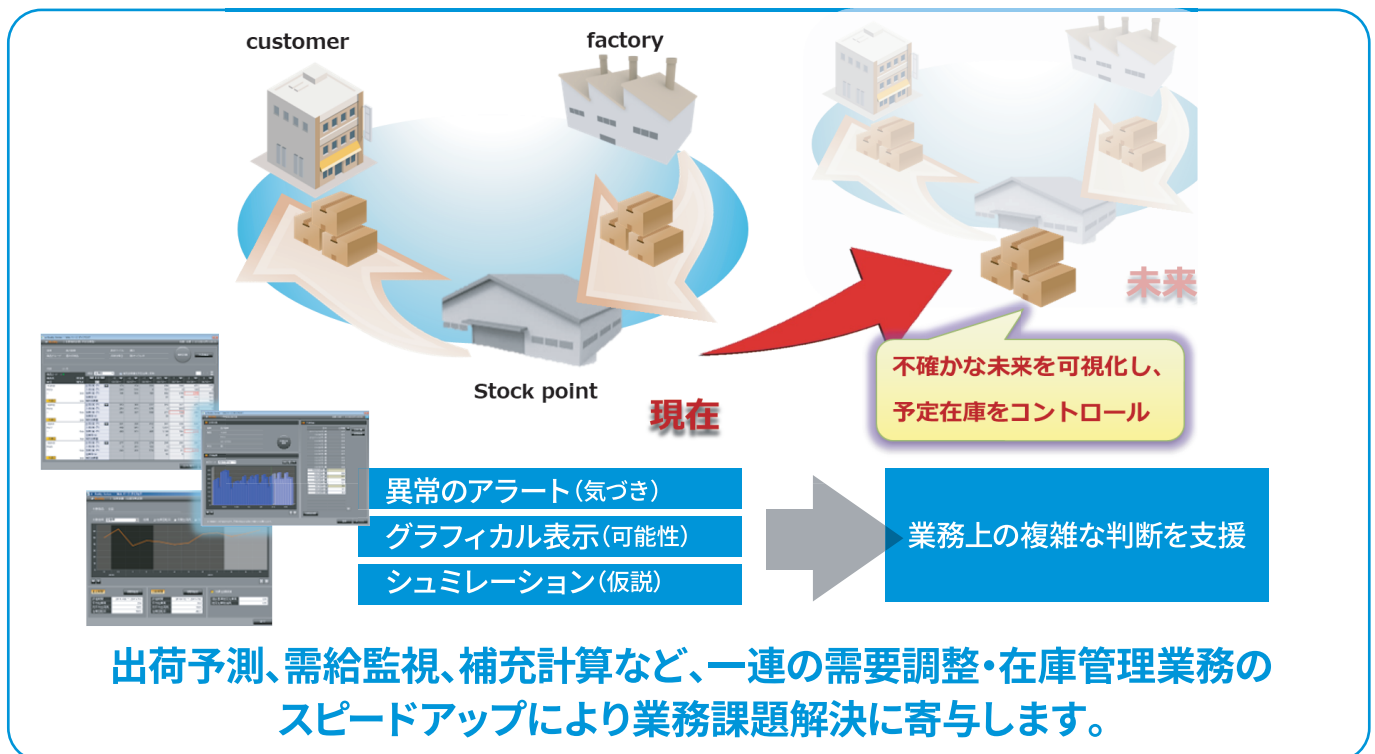
在庫適正化の課題

- 需要予測の精度を高めたい
- 予定在庫異常を早期に検知し処置したい
- 在庫の補充必要量の精度を高めたい

業務効率化の課題

- エクセル依存作業から脱却したい
- 属人的な作業を体系的に業務標準化したい
- 部門間でのデータ共有・やり取りを迅速にしたい

φ-Pilot series (ファイ・パイロットシリーズ)は、
見込精算をされている製造業、及び卸売業において、
未来の在庫量を適正値にコントロールする為のソリューションです。



画面イメージ (φ-Pilot主要画面)

出荷予測

季節変動や間欠需要への自動対応で予測精度向上

ノイズとなる出荷実績を除去

需要調整

業務プロセスの自動化・標準化

生産必要量の自動計算

生産依頼データ
工場に対する生産依頼を出力

出荷予実異常

予実異常点検

スピーディーな計画変更と計画精度向上

実績過少・過大の点検結果

商品別に詳細状況確認
予測見直し計算も可能

予測累計
実績累計
乖離
修正予測

移動指示

倉庫別の需要を考慮した適正在庫割当

下位倉庫別の需要に割当て

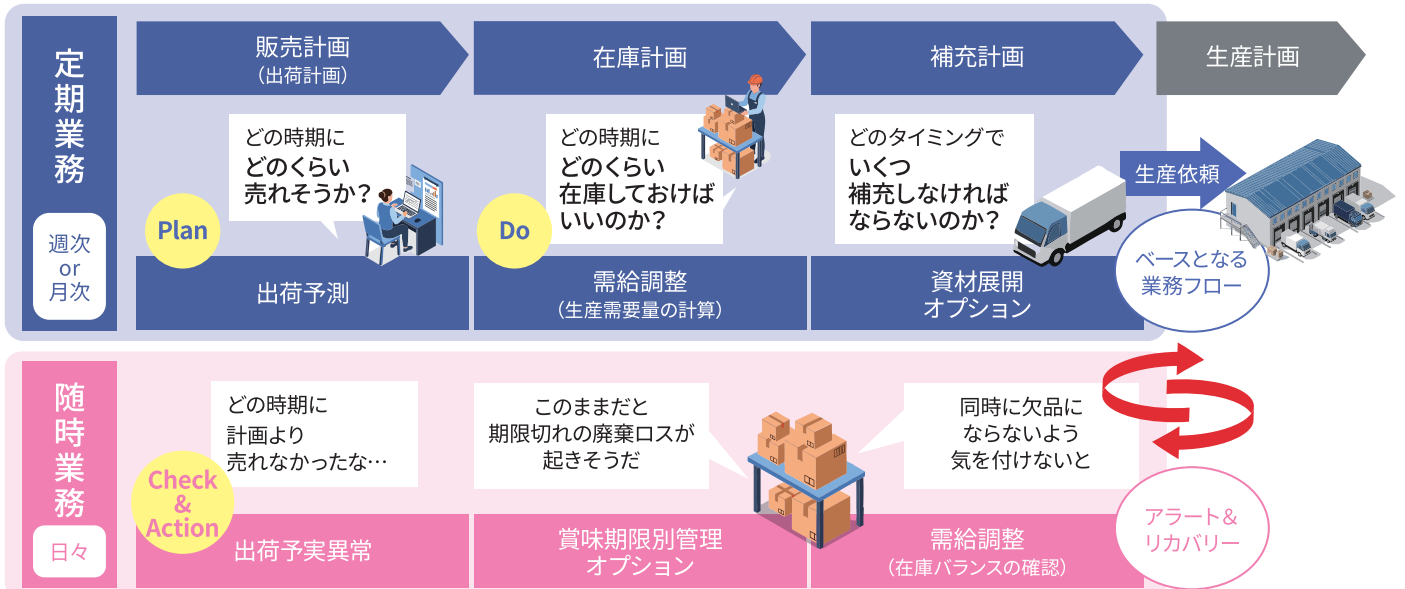
指示データを出し
基幹システムへ連携

移動可能な倉庫や商品の設定が可能

移動供給指示を出力

移動指示データ

需要調整業務とφ-Pilot seriesの位置付け



□本文中の会社名および製品名は各社が商標または登録商標として使用している場合があります。
□本資料は内容は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。